

## 保健活動部会での意見交換内容

分析結果を踏まえ、属性や環境が似た保険者における対策、特定保健指導等に有用なデータについて意見交換

※以下、委員意見抜粋

### ■ 分析結果を踏まえて考えられる対応策について

○各保険者が一人一人の被保険者に働きかけを行うことは難しいので、ハイリスクの方を医療に繋げること、特定保健指導の実施率を上げることが重要ではないか。特定保健指導の実施率を上げるためには、①健診当日の健康意識の高いうちに保健指導を受けてもらえるよう、特定健診当日に保健指導を実施できる健診機関を増やす、②健診結果をわかりやすくする工夫をする、③ICTを活用する、等が考えられる。

○特定保健指導の終了率を上げることは、重症化予防や健康増進につながるため、まずは特定健診を受けない人への受診勧奨や特定保健指導対象者への利用勧奨が重要。アンケートをとりながら、勧奨のツールやタイミングを工夫することが有用だと考えている。

○メンタルヘルスの電話相談窓口を設けているが、コロナ禍で相談が増加しており、何か対策ができるとうい。

○自保険者でも同様の分析を行ってみたが、全体の分析と同様の傾向であった。血糖のみ改善している要因がわからないが、数年後には血糖の数値も悪化する可能性もあり、まずは肥満対策が必要かと思われる。自保険者では肥満は男性に多く、宴席は減少しているはずだが、自宅での食事で食事量が増えている、運動が不足しているということが考えられ、運動へのアプローチが必要。一方、肥満にスポットが当たりがちだが、女性の低栄養が増えていることにも留意が必要。

### ■ 対応策を検討する上で有用と考えられるデータについて

○メタボ・メタボ予備群・肥満・血圧は悪化しているのに、血糖のみ改善しているのは、生活習慣についても改善傾向がみられる中で何が原因かが予測しづらい。喫煙との関係がわかると変わるのか、ということも気になる。特定健診の質問票データでわかる範囲でよいので、もう少し要因が予測しやすくなるデータがあるとよい。